平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場会社名　オイレス工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6282　URL　http://www.oiles.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岡山　俊雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　上席執行役員 企画管理本部長　(氏名) 内田　隆彦　TEL 0466-44-4901

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,794	2.8	2,068	△22.1	2,115	△19.7	1,238	△1.9
23年3月期第2四半期	24,107	19.2	2,655	288.5	2,633	168.5	1,262	116.4

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　1,095百万円　(45.2%)　23年3月期第2四半期　754百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	40.65	—
23年3月期第2四半期	39.55	—

(注)潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	61,441	50,290	80.5	1,622.49
23年3月期	63,219	49,796	77.5	1,607.50

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　49,430百万円　23年3月期　48,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
24年3月期	—	15.00			
24年3月期(予想)			—	20.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,200	0.9	5,400	△13.4	5,800	△8.2	3,420	△3.3	113.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※平成23年11月7日から平成24年2月29日の間に100万株もしくは20億円を上限とした自己株式の取得を行い、平成24年3月1日に200万株の自己株式の消却を行う予定であります。上記、1株当たり当期純利益はこれらを考慮して計算しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	33,917,088 株	23年3月期	33,917,088 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,450,909 株	23年3月期	3,450,603 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	30,466,343 株	23年3月期2Q	31,915,139 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
４．補足情報 …… 9
（１）受注及び販売の状況 …… 9
（２）地域ごとの売上高 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におきましては、東日本大震災の影響を受けた自動車産業などのサプライチェーンの復旧もあり、国内景気は回復しつつあります。一方で米国景気停滞の長期化、欧州債務問題、さらには新興国でのインフレに伴う金融引締めによる景気減速懸念等により、世界経済の先行きは不透明さを増しております。また、急激な円高により日本産業の国際競争力低下と空洞化が懸念される状況となっております。

このような環境にあって、軸受機器事業につきましては第２四半期連結会計期間での回復基調にもかかわらず、第１四半期連結会計期間での震災の影響を克服するまでに至らず、前年同期比で減収減益となりました。構造機器事業につきましては、第２四半期連結会計期間で前年同期に対して増収減益となったものの、第１四半期連結会計期間での大型物件が寄与し、前年同期比で増収増益を確保しました。建築機器事業につきましては、第２四半期連結会計期間の売上増および販管費を中心とする全社をあげてのコストの低減により、前年同期比で増収増益となりました。

これらの結果、グループ全体での売上高は247億9千4百万円（前年同期比2.8％増）、営業利益は20億6千8百万円（前年同期比22.1％減）、経常利益は21億1千5百万円（前年同期比19.7％減）、四半期純利益は12億3千8百万円（前年同期比1.9％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ、総資産は17億7千7百万円減少、負債は22億7千万円減少、純資産は4億9千3百万円増加したため、自己資本比率は3.0ポイント増加して80.5％となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産では受取手形及び売掛金が22億3千6百万円減少、固定資産では機械及び装置が2億9千4百万円増加、投資有価証券が4億5千万円減少であります。

負債の増減の主なものは、流動負債で支払手形及び買掛金の6億8千3百万円の減少、未払法人税等の12億8千7百万円の減少であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

軸受機器事業につきましては、急激な円高による輸出環境の悪化、および世界的な景気後退や、タイ国における洪水被害が今後の日系自動車メーカーの生産台数に影響を及ぼしつつありますが、中国・インドをはじめとした新興国需要の開拓、新製品の投入と徹底したコストの低減に努めてまいります。

構造機器事業につきましては、東日本大震災以降、構造物の耐震性向上の要求が一段と増加しており、免震及び制振への需要拡大にむけた積極的な営業活動と徹底したコストの低減に努めてまいります。

建築機器事業につきましては、引続き電力供給に制約が生じる環境が想定される中、エコシェイドやサンシャディなどの省エネに貢献するエコ製品への需要の高まりが期待されます。主力のオペレータ製品につきましては、リニューアル物件の受注獲得とコストの低減により、売上と利益の拡大に努めてまいります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,091	12,230
受取手形及び売掛金	17,652	15,416
有価証券	1,284	1,285
商品及び製品	2,783	2,893
仕掛品	2,164	2,143
原材料及び貯蔵品	1,391	1,605
その他	1,455	1,604
貸倒引当金	△97	△99
流動資産合計	38,726	37,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,460	6,345
機械及び装置（純額）	3,526	3,820
土地	3,625	3,628
その他（純額）	1,376	1,207
有形固定資産合計	14,989	15,001
無形固定資産	561	706
投資その他の資産		
投資有価証券	7,539	7,088
その他	1,508	1,670
貸倒引当金	△105	△103
投資その他の資産合計	8,942	8,655
固定資産合計	24,493	24,362
資産合計	63,219	61,441

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,868	5,184
短期借入金	0	0
未払法人税等	2,053	766
賞与引当金	1,008	1,079
役員賞与引当金	114	59
その他	2,135	1,917
流動負債合計	11,181	9,007
固定負債		
長期借入金	0	0
退職給付引当金	1,330	1,325
役員退職慰労引当金	63	72
負ののれん	6	5
その他	839	738
固定負債合計	2,240	2,143
負債合計	13,422	11,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,585	8,585
資本剰余金	9,474	9,474
利益剰余金	35,904	36,533
自己株式	△4,938	△4,938
株主資本合計	49,025	49,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	825	573
為替換算調整勘定	△875	△796
その他の包括利益累計額合計	△50	△222
少数株主持分	822	859
純資産合計	49,796	50,290
負債純資産合計	63,219	61,441

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	24,107	24,794
売上原価	15,314	16,355
売上総利益	8,793	8,438
販売費及び一般管理費	6,137	6,370
営業利益	2,655	2,068
営業外収益		
受取利息	23	14
受取配当金	49	75
その他	209	106
営業外収益合計	282	196
営業外費用		
支払利息	0	1
売上割引	7	7
為替差損	275	131
その他	20	9
営業外費用合計	304	149
経常利益	2,633	2,115
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6	－
受取和解金	－	81
特別利益合計	6	81
特別損失		
固定資産処分損	18	12
投資有価証券評価損	377	91
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5	－
特別損失合計	401	104
税金等調整前四半期純利益	2,238	2,091
法人税等	940	812
少数株主損益調整前四半期純利益	1,298	1,279
少数株主利益	35	41
四半期純利益	1,262	1,238

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,298	1,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△256	△254
為替換算調整勘定	△287	71
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	－
その他の包括利益合計	△543	△183
四半期包括利益	754	1,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	726	1,065
少数株主に係る四半期包括利益	28	29

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,238	2,091
減価償却費	1,046	1,067
負ののれん償却額	△3	△0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△35	0
退職給付引当金の増減額（△は減少）	19	△8
受取利息及び受取配当金	△72	△90
支払利息	0	1
固定資産処分損益（△は益）	18	12
投資有価証券評価損益（△は益）	377	91
受取和解金	－	△81
売上債権の増減額（△は増加）	782	2,256
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,248	△279
仕入債務の増減額（△は減少）	△92	△687
その他	252	△157
小計	3,282	4,217
利息及び配当金の受取額	68	90
利息の支払額	△0	△1
和解金の受取額	－	57
法人税等の支払額	△907	△2,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,442	2,223
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△635	△1,119
有形固定資産の売却による収入	37	5
無形固定資産の取得による支出	△89	△270
投資有価証券の取得による支出	△420	△7
投資有価証券の売却による収入	1	0
定期預金の預入による支出	△500	△6
定期預金の払戻による収入	500	3
貸付金の回収による収入	1	1
保険積立金の解約による収入	534	3
その他	△38	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△610	△1,469
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△733	△608
少数株主への配当金の支払額	△12	△7
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△25	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△771	△642
現金及び現金同等物に係る換算差額	△132	25
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	928	136
現金及び現金同等物の期首残高	13,938	13,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,866	13,456

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,864	4,174	2,436	23,475	632	24,107	－	24,107
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	－	1	11	6	18	△18	－
計	16,873	4,174	2,438	23,486	639	24,125	△18	24,107
セグメント利益	2,410	204	18	2,633	22	2,655	－	2,655

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,315	5,201	2,648	24,166	627	24,794	－	24,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	－	7	20	40	61	△61	－
計	16,329	5,201	2,656	24,187	668	24,855	△61	24,794
セグメント利益	1,637	270	131	2,040	28	2,068	－	2,068

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

４．補足情報

（１）受注及び販売の状況

当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
軸受機器	3,306	35.3	16,165	67.4	16,315	65.8	3,156	36.9
構造機器	5,104	54.5	4,272	17.8	5,201	21.0	4,175	48.8
建築機器	676	7.2	2,934	12.2	2,648	10.7	961	11.2
報告セグメント計	9,087	97.1	23,372	97.4	24,166	97.5	8,293	96.9
その他	271	2.9	619	2.6	627	2.5	263	3.1
合計	9,358	100.0	23,992	100.0	24,794	100.0	8,557	100.0

前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年９月30日）

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
軸受機器	2,633	29.1	17,255	63.6	16,864	70.0	3,025	25.0
構造機器	5,674	62.7	6,635	24.5	4,174	17.3	8,135	67.3
建築機器	527	5.8	2,548	9.4	2,436	10.1	639	5.3
報告セグメント計	8,835	97.6	26,439	97.4	23,475	97.4	11,800	97.7
その他	217	2.4	695	2.6	632	2.6	280	2.3
合計	9,053	100.0	27,135	100.0	24,107	100.0	12,081	100.0

前連結会計年度（自平成22年４月１日　至平成23年３月31日）

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
軸受機器	2,633	29.1	34,497	66.3	33,824	65.4	3,306	35.3
構造機器	5,674	62.7	10,692	20.6	11,262	21.8	5,104	54.5
建築機器	527	5.8	5,533	10.6	5,384	10.4	676	7.2
報告セグメント計	8,835	97.6	50,722	97.5	50,471	97.6	9,087	97.1
その他	217	2.4	1,298	2.5	1,243	2.4	271	2.9
合計	9,053	100.0	52,020	100.0	51,715	100.0	9,358	100.0

（２）地域ごとの売上高

前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）

（単位：百万円）

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
19,093	1,588	1,070	2,314	41	24,107

当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

（単位：百万円）

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
19,736	1,377	1,009	2,558	111	24,794

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。